

Strategy for Optimizing Tire Production

タイヤのグローバル最適生産体制構築に向けた取り組み

金融危機後の世界的な景気減速による需要低下を脱したものの、タイヤ事業の経営環境はグローバル競争の激化や原材料価格の高騰など厳しさが増えています。この状況のなか、当社グループは長期ビジョンの実現に向けて、グローバル展開を加速させています。

成長市場へのシフト

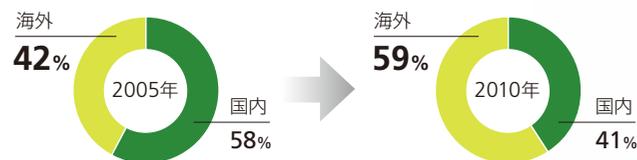
国内の自動車保有台数が伸び悩みの傾向を示すなか、タイヤ事業の最重要課題はグローバル戦略の推進です。販売面では、成長著しいアジア市場での拡販に加えて、需要拡大が期待されるロシア、中近東、中南米で販売会社を立ち上げ、巨大市場である北米や欧州ではファルケンブランドを活用して販路拡大に取り組んできました。その結果、2010年の海外販売比率は59%に達し、長期ビジョンの目標65%に対して前倒しで進捗してい

ます。海外での販売体制の強化に並行して、生産体制ではインドネシア、中国、タイ工場の比重を高め、コスト競争力の向上と物流費・為替リスクの低減を図るグローバル最適生産体制の構築を進めてい

ます。2010年の海外生産比率は43%に達しましたが、今後も成長市場での供給能力をさらに高めていく考えです。

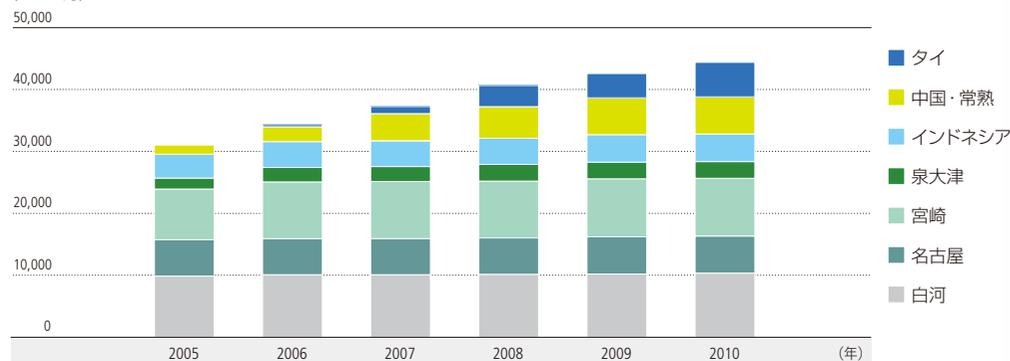
地域別タイヤ販売構成比

(注)市販用および新車用タイヤを含む



タイヤ生産能力の推移

(トン/月)

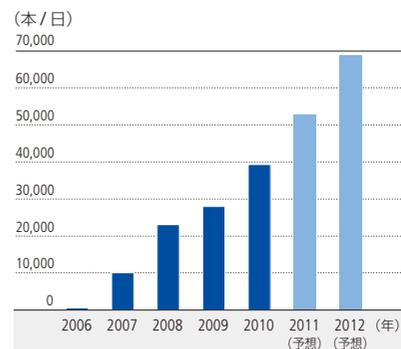


タイ工場の生産を増強

グローバルな成長戦略の核として、当社グループでは2015年にアジア地域での市販用タイヤ販売を2009年比で2倍の規模に拡大していくことを目標としています。今後もダイナミックに成長するアジア需要を背景にさらなる供給体制の強化は緊要の課題です。このような状況を踏まえ、2012年末までにタイ工場

の生産能力を2009年と比べて約2.5倍となる約70,000本/日とする計画を推進中です。タイ工場の生産能力は最終的には約100,000本/日まで引き上げることが可能であり、グローバルな輸出拠点として世界最大規模のタイヤ工場を目指してまいります。

タイ工場 生産能力の推移



中国第2工場の建設に着工

2010年9月、中国で2カ所目となるタイヤ工場を湖南省長沙市に設立し、建設工事に着工しました。2009年に米国を抜き、世界最大の自動車市場となった中国ですが、今後5年間にさらに毎年10%の高成長が続くと予測しています。当社グループでは、2004年より江蘇省常熟市に生産拠点を置き、生産・販売活動を続け

てきましたが、市場拡大に対応するため、新たな生産拠点の開設が不可欠と判断しました。第2工場は、2012年7月の稼働開始を予定しています。生産能力は、第1期として2014年末に15,000本/日、第2期として2017年末に30,000本/日を計画しています。

当社グループでは、今後もグローバルでの需給最適化、コスト競争力強化を図り、成長市場での拡販を図ってまいります。



起工式の模様



完成予想図